

## 症例報告

エルザ動物医療センター長 中田 雄三 先生

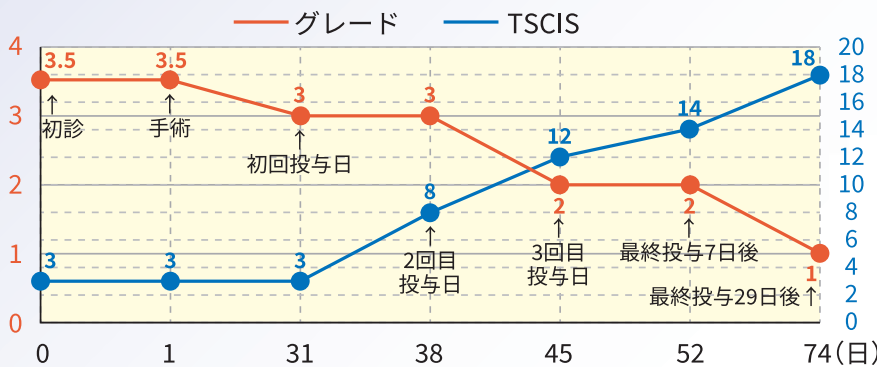
### 症例5

ミニチュアダックス 12歳 雄 去勢 体重 5.9kg

**診断** 胸腰部椎間板ヘルニア グレード分類：3.5  
TSCIS (Texas Spinal Cord Injury Score)：3点(歩様:左後肢1点 痛覚:右後肢1点・左後肢1点)  
**画像** 罹患部位：L2-L3右

#### 【経過と症状】

2023年8月に発症し初診日翌日に外科手術を実施した。術後30日を経過しても体を支える後肢の動きや浅部痛覚は認められなかった。そこでSTEMキユア® 1mLを7日おき3回投与による細胞治療を開始した。初回投与7日後から運動失調を伴った歩行が可能になり、最終投与29日後には浅部痛覚は弱いが、ほぼ正常歩行が可能になった。投与中、投与後も副作用は認められなかった。



症例動画



#### 【主治医コメント】

当グループの胸腰部椎間板ヘルニアグレード3の術後改善率は概ね90%であるが、本症例のように術後に改善しない症例も存在する。今回術後経過が乏しい症例にも本製品の効果が認められ、新たな選択肢になることが実感できた。飼主は愛犬がみるみる回復して元気になっていったとの印象を語っており、患犬だけでなく飼主のQOL(生活の質)も向上した。

ハート動物クリニック 犬猫医療センター 院長 原田 高志 先生

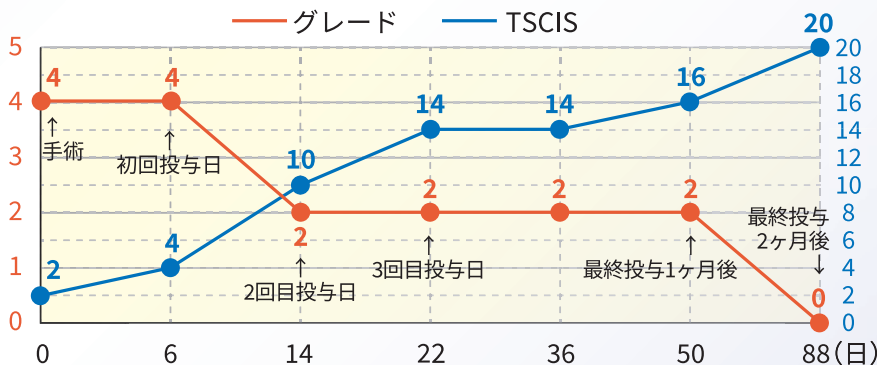
### 症例6

フレンチブルドッグ 6歳 雄 去勢 体重 13.6kg

**診断** 胸腰部椎間板ヘルニア グレード分類：4  
TSCIS (Texas Spinal Cord Injury Score)：4点(歩様:右後肢1点・左後肢1点 痛覚:右後肢1点・左後肢1点)  
**画像** 罹患部位：L2-3

#### 【経過と症状】

初診時に胸腰部椎間板ヘルニア(G4)を疑い、脊髓造影CT検査を行ったところ、L2-3腹側より椎間板の脊柱管への突出を認め、またT11からL3領域において脊髓の浮腫を疑う造影ラインの減弱～消失を認めた。片側椎弓切除術(L2-3右側)および術後6日目よりSTEMキユア® 3mLを週1回、計3回の投与を実施した。

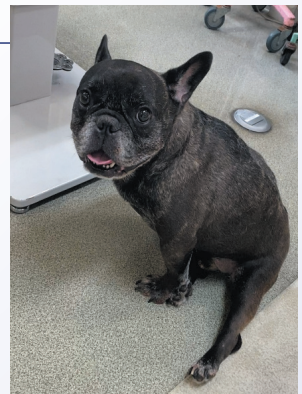


症例動画



#### 【主治医コメント】

本症例は椎間板ヘルニアに浮腫などの脊髓実質の障害を伴っていると推測されたため、術後の改善が乏しいことが予測されました。術後経過から脊髓軟化症は否定的であったため、STEMキユア®を早期に併用したところ、予想したよりも早期に症状の改善が認められ、一定の成果が得られました。非典型例に対し、術後にSTEMキユア®を併用することは選択肢の一つとなるかもしれません。



# 本製品の使用には「ステムキュア会員」の登録が必要です。

薬機法第23条の26に基づき以下の条件を付されて承認されました。つきましては、弊社ホームページの小動物医療従事者専用webサイトから会員登録をお願い申し上げます。

犬の椎間板ヘルニアの診断・治療に対して十分な知識・経験を持つ獣医師の下で、本品の使用が適切と判断される患畜に対して、バイタルサインの確認、臨床検査によるモニタリング等の適切な対応がなされる体制下で本品を使用すること。

## 会員登録の流れ



### 小動物医療従事者専用webサイト会員登録

ステムキュア会員登録の前に、当サイト(www.ds-vet.jp)に会員登録をお願いいたします。(既に当サイト登録済みの先生は「STEP 2」へ)



#### 1「無料会員登録」を



#### 2必要事項を入力し「登録」を



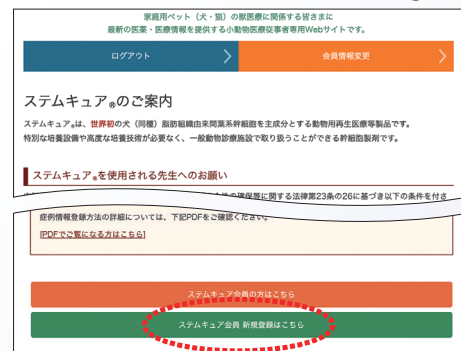
### ステムキュア会員登録

小動物医療従事者専用webサイトにログイン後、「ステムキュア会員▼」のプルダウンメニューの「ステムキュア会員について」から必要事項を入力してください。

#### 1「ステムキュア会員について」を



#### 2下段の「新規会員はこちら」を



#### 3メールアドレス・パスワード入力後「送信」を



#### 4必須項目を入力後「送信」を



細胞治療の経験もしくは学会教育講義の受講経験がない先生は、オンラインセミナーの受講をお願い申し上げます。受講日時は、登録完了後に配信されるメールのリンク先から選択戴けます。